

## 令和6年度 上尾市立大石小学校 学校評価資料

1 令和6年度学校評価に係る自己評価に際して、参考としたアンケート結果(令和6年12月実施)

- ① 教職員アンケート 教職員 42名/42名
- ② 児童アンケート 児童 843名/875名
- ③ 保護者アンケート 保護者 367件/693件

2 学校の自己評価

8領域、24項目について自己評価

3 学校関係者評価

学校運営協議会としての評価及びご意見・ご提言をいただく

4 令和6年度 上尾市立大石小学校 学校評価書

令和6年度学校評価に係る自己評価に際して、参考としたアンケート結果(%)

A(そう思う) B(おおむねそう思う) C(あまりそう思わない) D(全く思わない) ※保護者のみ E(分からない)

領域	自己評価の評価基準	自己評価	アンケート対象者	参考とした教職員自己評価及び児童・保護者アンケートの設問内容及び傾向(%)	A	B	C	D	E
I 教育目標の具現化・円滑な学校運営	1 学校(学年・学級)運営や学習指導、その他の教育活動の工夫改善に取り組み、学校教育目標(考える子、思いやりのある子、がんばる子)や目指す学校像(信頼あふれる学校)の具現化に向かって、前進している。	A	職員	校長の示した目指す学校像に基づき、学校教育目標の具現化のため、学校(学年・学級)運営や学習指導、その他の教育活動の工夫改善に努めている。	48.8	51.2	0	0	
			児童						
			保護者	お子さんは、本校の学校教育目標である、考える子、思いやりのある子、がんばる子のどれか一つ以上に近づいている。	33.9	60.9	3.8	0	1.4
	2 教職員それぞれが能力を発揮し、各自の分掌(役割)や各学年が連携・協力して、質の高い学校づくりを目指す体制を構築している。	B	職員	自らの分掌内容を把握し、チームワーク行動を発揮しながら、学校運営に参画している。	55	42.5	2.5	0	
			児童	先生方は、力を合わせて、学校の仕事をしています。	87.5	11.2	0.8	0.5	
			保護者	職員は、連携がとれている。	14.7	64	5.4	15.5	14.7
	3 災害や感染症等の危機に対して、児童の安心安全を確保する対応を適切に行っている。	A	職員	災害や感染症等の危機に対して、児童の安心安全を確保するための方策を、常に確認し、取り組んでいる。	36.8	66.7	2.6	0	
			児童						
			保護者	学校は、災害や感染症等の危機に対して、児童の安心安全を確保するための方策を、常に確認し取り組んでいる。	15.3	65.7	3.3	0.3	15.5

領域	自己評価の評価基準	自己評価	アンケート 対象者	参考とした教職員自己評価及び児童・保護者アンケートの設問内容と傾向(%)	A	B	C	D	E
II 児童一人一人の学力を伸ばす学習指導の充実	4 教育課程や指導方法を工夫改善し、児童の主体的に学習に取り組む態度を高め、学力の定着に努めている。	A	職員	教材研究、ねらいの明確化と振り返り等、指導方法の改善に取り組み、わかる授業を展開し、学力の定着に努めている。	51.3	48.7	0	0	
			児童	先生の授業はわかりやすい。	74.4	23	1.5	1.1	
			保護者	先生は、教材や教え方を工夫して、わかりやすい授業を行っている。	29.2	56.6	1.6	0.5	12
	5 学習用具の準備ができるように指導を充実させている。	A	職員	授業の前に学習用具をそろえることなど、学習のきまりを繰り返し指導している。	53.8	43.6	2.6	0	
			児童						
			保護者	先生は、子供たちに学習のきまりを指導しながら授業を行っている。	30	56.4	1.4	0	12.3
	6 時間を守る心が育つように指導を充実させている。	A	職員	時間・時刻を守るという指導を行っている。	79.5	20.5	0	0	
			児童	自分は、授業の始まる時刻など、学校の決まりを守っている。	58.3	38	2.9	0.8	
			保護者	お子さんは、時間を守って生活している。	17.2	64.5	16.4	1.1	0.8
	7 児童の読書の推進し、読書活動を充実させる。	B	職員	学校図書館を意図的に活用し、児童の読書の推進に工夫している。	37.1	48.6	14.3	0	
児童			読書を楽しんでいる。	52	30.8	12.4	4.9		
保護者			お子さんは、楽しんで読書をしている。	26.1	34.6	30	6.3	1.1	
8 コンピュータを活用する授業を推進し、充実させている。	A	職員	デジタル教科書や大型モニタの日常的な活用、学習用端末を連動させた活用を推進するなど、ICT機器を子供にも利用させている。	64.1	33.3	2.6	0		
		児童	パソコンを使う授業は、楽しい。	82	13.9	3	1.1		
		保護者	お子さんは、学校のタブレットや家庭のパソコンなどを活用して学習している。	34.6	42.5	12.3	6.8	3.8	
9 英語に慣れ親しみ、主体的にコミュニケーションを図れる児童が育つように、外国語教育を充実させている。	B	職員	外国語・外国語活動・英語活動をALTと協力し、授業の充実にも努めている。	60.6	33.3	6.1	0		
		児童	自分は、楽しく英語の学習をしている。	73.5	19.7	4.7	2.1		
		保護者	お子さんは、英語に関する学習などに興味を高めている。	18.5	48.8	24	5.7	3	
10 個に応じた指導を充実させている。	B	職員	個別最適な学びと協働的な学びの実現のための指導を充実させている。	30	67.5	2.5	0		
		児童							
		保護者	学校は、子供たち一人一人の個に応じた指導を行っている。	15	52.5	13.9	0.5	18	

領域	自己評価の評価基準	自己評価	アンケート 等対象者	参考とした教職員自己評価及び児童・保護者アンケートの設問内容と傾向(%)	A	B	C	D	E
Ⅲ 豊かな心の育成	11 認め合い、支え合う学級づくりのために指導を充実させている。	A	職員	聞く態度の育成、朝の会や帰りの会の充実、個を大切に評価等を行い、認め合い、支え合う学級づくりに努めている。	47.1	52.9	0	0	
			児童						
			保護者	学校は、子供たち一人一人を認め合い、支え合う学級づくりに努めている。	17.4	62.4	3.3	0.5	16.3
	12 正しい言葉をつかう心が育つように指導を充実させている。	B	職員	道徳の指導の充実にも努め、心を揺り動かす授業の実践に努めている。	20.6	76.5	2.9	0	
			職員	人を傷つける言葉、優しい言葉について繰り返し指導し、友達を大切にしている心が育っている。	30.8	61.5	7.7	0	
			児童	自分は、相手の気持ちを考え、思いやりのある言葉づかいができています。	59.2	34.5	5.4	1	
			保護者	お子さんは、ていねいで、やさしい言葉をつかうなど、正しい言葉遣いができるようになってきた。	8.7	57.2	26.4	4.4	3.3
	13 もくもくと丁寧に掃除をする心が育つように指導を充実させている。	A	職員	清掃指導を意図的に行い、学校をきれいにしようとして繰り返し指導を行っている。	43.6	51.3	5.1	0	
			児童	自分は、きれいにしようという気持ちをこめて、だまってそうじをしている	51.4	40.5	6.9	1.2	
保護者									
領域	自己評価の評価基準	自己評価	アンケート 等対象者	参考とした教職員自己評価及び児童・保護者アンケートの設問内容と傾向(%)	A	B	C	D	E
Ⅳ 体力の向上と健康教育の推進	14 児童が運動に親しみ、技能や体力を向上させる取組を充実させている。	A	職員	子供たちが運動に親しみ、運動量を確保しながら、体育の授業の充実にも努めている。	34.3	65.7	0	0	
			児童	体育の学習や運動は、楽しい。	84.3	11.7	3.4	0.6	
			保護者	学校は、子供が運動に親しむための指導を行っている。	15.3	57.8	9	0.5	17.4
	15 児童が運動に親しみ、技能や体力を向上させる取組を充実させている。	B	職員	外遊びの時間を意図的・計画的に活用し、体力向上のために具体的な取組を行っている。	14.7	58.8	26.5	0	
			児童	外遊びでは、進んで体を動かして楽しく活動している	60.1	21.6	14	4.3	
			保護者	外遊びや運動に積極的に取り組んでいる。	34.9	39.5	21.3	3.3	1.1
	16 保健、歯科保健の取組を充実させている。	A	職員	手洗い・うがい・歯磨きタイムなどの活用を図り、保健指導・保健活動の充実にも努めている。	34.3	60	5.7	0	
			児童	自分は、手洗い、うがい、歯みがきなど、健康を守る取組をしっかり行っている。	69.9	26.1	3.4	0.6	
			保護者	学校は、感染症の予防(手洗い・うがいなど)や歯みがきなど、健康を守るための取組をしっかり行っている。	21.9	61.7	5.7	1.1	9.6
	17 食に関する指導を充実させ、食物アレルギーによる事故防止にも丁寧に対応している。	A	職員	食に関する指導や食物アレルギーによる事故を未然に防ぐ取組の充実にも努めている。	61.1	36.1	2.8	0	
			児童	給食では、自分が食べなければいけない量を、残さず(具合が悪い日、食べてはいけないものは、入れません)食べるように努力しています。	68.1	23	7.3	1.7	
			保護者	学校は、食に関する指導を行い、食物アレルギーへの対応にも丁寧に取り組んでいる。	29.2	53.1	2.2	0	15.5
18 「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さの指導を充実させている。	B	職員	「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを繰り返し指導している。	41.7	41.7	16.7	0		
		児童	自分は、「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけている。	54.1	34.7	9.1	2.1		
		保護者	お子さんに早寝・早起き・朝ごはんが身に付くように、気を付けている。	26.1	57.4	14.3	1.9	0.3	

